

農地等利用最適化推進施策 に関する意見書

令和7年11月

相馬市農業委員会

農地等利用最適化推進施策に関する意見書

本市の農業振興には、日頃から積極的に取り組まれるとともに、当農業委員会の活動につきましても、格別なるご理解とご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、農業をめぐる国内の情勢は、昨年より米価の高騰が全国的に大きな問題となる中、消費者は低い価格の米を求めています。生産者は、依然として、肥料、飼料、生産資材費などの高騰による生産コストの負担や、近年の温暖化への対処など、深刻な状況になっております。

また、本市の農業・農村を取り巻く状況は、農業者の高齢化、後継者や新規就農者の不足、さらに耕作放棄地の増加など、厳しさは一層深まっております。

当農業委員会としても、農地等の利用の最適化の推進に関する指針を定め、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、「農地利用の集積・集約化」「遊休農地の発生防止・解消」「新規参入の促進」を図るために活動しておりますが、農業者の自助努力だけでは解決できない課題も山積しており、地域の農業を守り、優良な農地を次世代へ引継ぐためには、市においても、引き続き積極的な施策や支援を講じる必要があると考えます。

つきましては、本市農業の発展と農地等の利用の最適化を推進するため、以下の事項を、新年度の施策の立案や予算編成に反映いただき、また、国・県等関係機関へ働きかけを行っていただきますよう、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定により意見書を提出いたします。

令和7年11月18日

相馬市長 立谷 秀清 様

相馬市農業委員会
会長 前川 正人

1 農地を取り巻く環境の整備

農地を取り巻く状況は、少子高齢化による担い手不足や遊休農地の増加、有害鳥獣被害などによって、農業者のみで維持することが非常に困難となっており、鳥獣被害への対策、水源や水路などの維持管理に関して、行政からの支援策が求められています。

また、中山間区域での耕作や管理が困難な場所では、耕作放棄地が増えてきており、耕作困難地域にかかる農業振興地域計画の見直しが求められています。

① 有害鳥獣対策について

イノシシ・サルなどによる農地への被害は深刻で、これまで電気柵設置への補助や、追い払い用の花火の配布、市鳥獣被害対策実施隊の活動などに取り組んでいただいておりますが、その効果は限定されております。

そこで、実施隊が十分に活動できるような処遇改善を図ったうえで、駆除活動の定期化・回数の増加、新たな追い払い手法の導入、さらにワイヤーメッシュ柵の設置などの支援策を講じていただきたい。

② 水源・水路の維持管理

農業に必要な水について、中山間区域での水不足や水路内の大きな樹木の伐採等の維持管理が問題となっております。

農家の自助努力だけでは対応が難しいため、専門業者へ委託できるよう「多面的機能支払交付金」における委託の制限の緩和や手続きの簡素化・柔軟化、及び水源確保のための新たな支援策を講じていただきたい。

③ 農業振興地域計画の見直し

令和7年6月に改正された国の「農業振興地域制度に関するガイドライン」を踏まえ、市としても、改正スケジュールを明示するなど、速やかな農業振興地域計画の見直しを進めていただきたい。

2 農業経営の安定化に対する支援策

米価の高騰が社会問題となるなか、米価格の安定化を図るためには、生産者負担の減少と経営の安定など、安心して農業を営むためのセーフティーネットの形成が必要です。

そのため、肥料、飼料、生産資材費などの高騰への支援策と、スマート農業の導入のための支援策が求められています。

① 物価高騰への対応

肥料、飼料、生産資材費などの高騰が農業経営に深刻な影響を与えています。

物価高騰への支援策として、「農業者物価高騰支援事業」の継続・拡充を国へ働きかけていただきたい。

② スマート農業のための機材導入支援

ドローンなどを活用し、省力化・効率化されたスマート農業への期待が高まっていますが、高額な初期費用が導入を阻んでおります。

国や県の補助に加え、市としても支援を追加することで、相馬市の農業の省力化・効率化を図っていただきたい。

3 次世代の担い手の育成

農家の後継者不足が深刻な課題となっています。そのため、農業への興味喚起や具体的な将来像を示すこと、また、幅広い世代への継続的なアプローチやマッチングが求められています。

さらに、新規就農者が安定した経営を実現できるよう、技術指導や財政支援を充実させ、独り立ちを後押しする施策が求められています。

① 後継者の確保

後継者の育成・確保のため、子どものころから農業の魅力を伝え、進路選択時には、職業としての農業を具体的にイメージできるような取り組みをしていただきたい。

また、新卒者や相馬市での就職希望者に対しての情報提供や支援体制を充実させ、農業への参入を後押しする環境整備を構築していただきたい。

② 新規就農者への支援

新規就農者が技術や経営面での不安を解消し、安定して独り立ちできるよう、支援環境の整備が必要です。

具体的には、栽培技術を学ぶ講習や研修の充実、相談体制の確立や、経営安定のための補助金などの財政的支援について、国・県の取組に加え、市としても支援を追加し、相馬市で安心して農業に取り組める環境を構築していただきたい。